

# ヤマハルーター導入事例



## ◎サービス業

## 株式会社 梅田モータース 様



社名：株式会社 梅田モータース  
本社：神奈川県茅ヶ崎市中島255  
設立：1961年4月1日  
資本金：4,000万円  
従業員：160名  
URL：<http://www.u-media.ne.jp/Index.do>



神奈川県に新車・中古のバイク店19店舗を展開する梅田モータース様。ホンダ、ヤマハ、スズキ、カワサキなどの日本製はもとより、ハーレーダビッドソン、ドゥカティ、BMW、アプリリアなどの高級外国製バイクも販売しています。グループで6000台という圧倒的な在庫を持ち、1260cc以上の国産車新車は36ヶ月保証、無料50kmのロードサービス、中古車に対する整備保証など充実のアフターサービスを強みとしています。



株式会社 梅田モータース  
管理部 主任  
大久保 一 氏



東日本電信電話株式会社  
神奈川支店  
法人営業部 SE部門  
主査  
奥山 実 氏



東日本電信電話株式会社  
神奈川支店  
法人営業部 SE部門  
橋爪 敏雄 氏

- ◎店舗ネットワークのセキュリティ・レスポンス向上
- ◎RTX1000/1100からRTX1200にスムーズに移行
- ◎microSDメモリを使ったルーター交換標準化

### 導入前の課題

既存導入ルーターの  
保守契約が満了

店舗ネットワークの  
レスポンスの向上

基幹系通信の  
セキュリティレベル向上

更改前のネットワークは本社と16店舗をインターネットVPNで接続していました。このネットワークは売上集計、損益管理、在庫データ参照、修理など販売にかかわる重要なものから勤怠、メール・Webなどの営業・整備スタッフの情報系通信も含めた同社の基幹ネットワークでした。その基幹ネットワークのルーターとしてヤマハルーターが導入されていました。今回ヤマハルーターの保守契約が満了となり、既存

ルーターの保守体制をどうするかを考えると得ない状況でした。また、インターネットVPNを採用していたことから店舗ごとにプロバイダー契約が必要であるというコスト面のみならず光回線化しているにもかかわらず速度がでないというジレンマもありました。さらにインターネットを使って基幹系通信を行っていることからVPNをはっているとはいえセキュリティ面への不安も少なからずありました。

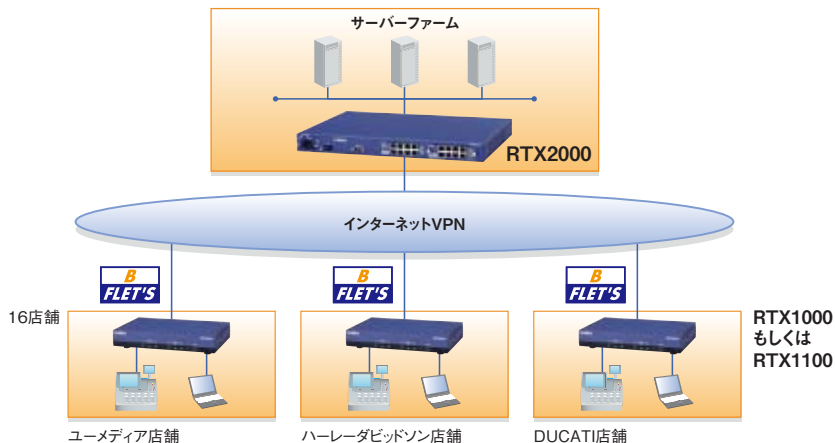
### 導入の経緯

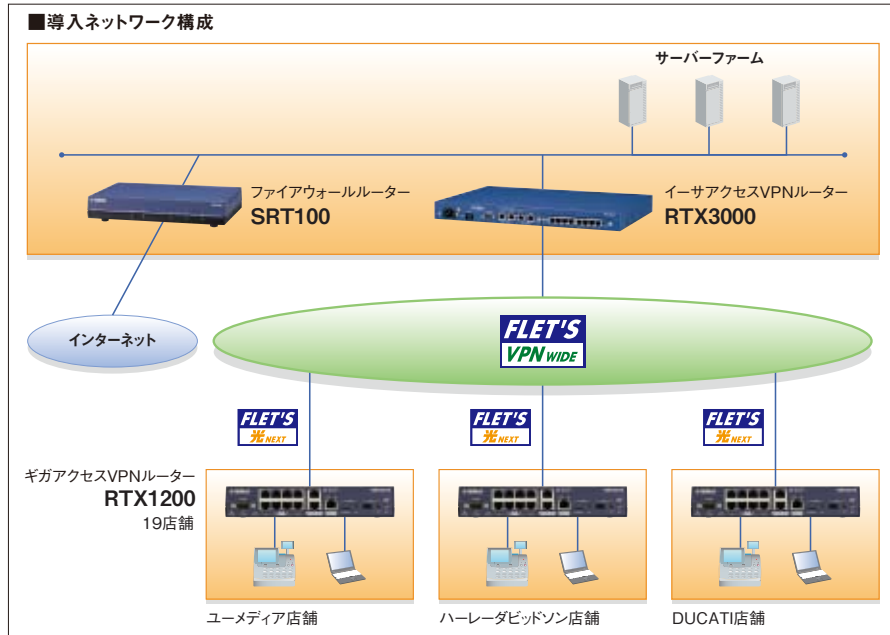
## フレッツ・VPNワイド導入によるセキュリティ強化と信頼性向上

同社は従来から音声・IPネットワークの設計・構築はもちろんのこと、障害時切分けから保守までをワンストップで提供できるNTT東日本様に任せてきました。今回も同社からの提案を受け、ルーター保守面だけの対策に留まらず、フレッツ・VPNワイドを使ったネットワークの速度面での改善、閉

域網ならではのセキュリティ面の強化など満足いくものでした。併せてルーターについてもRTX1000と同じ価格で大幅に性能面、機能面、使い勝手を向上した新製品RTX1200を導入することで、保守面の課題はもとより、導入のポイントに述べる画期的な運用の改善を果たせました。

#### ■導入前のネットワーク





※フレッツ・VPNワイドについて詳しくは <http://flets.com/vpnwide/> にてご確認ください。

■使用製品



ブランチオフィスから中小規模オフィスをカバーする次世代VPNルーター  
**RTX1200**  
 希望小売価格 118,000円(税抜)



「セキュリティ」「ルーティング」「マネジメント」を1台で実現するファイアウォールルーター  
**SRT100**  
 希望小売価格 78,000円(税抜)

お客様からの一言



株式会社 梅田モータース  
 管理部長  
 主任  
**大久保 一 氏**

旧ネットワークから今回のネットワークへの移行も店舗業務に支障を与えることなく、移行できました。NTT東日本がルーター導入手順をきめ細かくケアしてくれたためと評価しています。またフレッツ・VPNワイド内をトンネリングすることで既存PCのIPアドレスも設定変更がないように配慮するなど設計面でもノウハウを発揮してくれました。ヤマハルーターはRTX1000の時代から導入しています。RTX1000が故障したのは導入してから一度だけで、やはり国産の品質の高さを実感します。今回のRTX1200の導入でもRTX1000の実績がありましたので安心して導入できました。また、**今までは店舗ルーターが故障すると代替機を持って私が店舗に行き、コンソールで代替機を設定していましたが、RTX1200はmicroSDメモリからルーターの起動が行えるため、今回からは私が店舗に行かなくても店舗スタッフが代替機にmicroSDメモリを差替える運用に変えました。**この機能を使えば故障時にルーターのことを知らなくても誰でもスムーズな交換ができます。

■導入のポイント

- Point 1** 既設PCのIPアドレスはそのまま移行を完了

フレッツ・VPNワイド内をRTX3000⇔RTX1200間でトンネリングし、既設PCのアドレス設定作業が無いように設計で配慮
- Point 2** 店舗スタッフによる故障時のルーター交換

microSDメモリに格納した設定ファイルから店舗ルーター (RTX1200) を起動。故障時でも店舗スタッフが交換を行えるレベルに作業を標準化
- Point 3** ルーターにかかるランニングコストを低減

RTX1200は3年保証。上記の交換時運用に加えて本社に予備機を配置することでRTX1200の保守加入をゼロに

■導入後の効果

移行時も店舗業務を停止することなく移行を完了。ネットワークのレスポンスを向上、セキュリティを強化

基幹系通信が  
フレッツVPNワイド  
内部通信となり  
レスポンスが向上

基幹系通信を  
フレッツVPNワイド  
内部通信にすることで  
セキュリティが向上

ルーター運用の改善で  
即応体制を整備

今回のネットワーク更新により従来から課題認識をしていた点が解消されています。第一にスピード。従来はBフレッツをアクセス回線としていたものの、インターネットを経由して本社-店舗間通信をしていたため、オーバーヘッドがありました。今回はフレッツ・VPNワイド内で通信が完結するため、店舗スタッフからもレスポンスが向上したと評価されています。第二はセキュリティ。従来はVPNで暗号化しているものの、基幹データ通信をインターネットでやりとりしていました。今回はNTT東日本のプライベートネット

ワーク(フレッツ・VPNワイド)内の通信となるため、格段にセキュリティレベルが向上しています。第三はルーター故障時の運用。店舗のRTX1200故障時にmicroSDメモリを外して代替機に差し替え電源をいれるというシンプルな交換手順を標準にしたため、ルーターのことが分からない店舗スタッフでも交換作業ができるようになりました。センター側のRTX3000も24時間保守に加入するだけでなく、予備機として従来機のRTX2000に同じ設定を施し、万一に備えてコールドスタンバイ機として流用しています。

販売パートナー様

音声系ネットワークから  
データ系ネットワークまで  
トータルに提供するNTT東日本



社名: 東日本電信電話株式会社  
 本社: 東京都新宿区西新宿3-19-2  
 設立: 平成11年7月1日  
 URL: <http://flets.com/>

NTT東日本 - 神奈川URL  
<http://www.ntt-kanagawa.com/>

- FLET'S VPN WIDE** フレッツ・VPNワイドのメリット
- ◎ポイント1: 低コスト
  - ◎ポイント2: セキュア
  - ◎ポイント3: 広帯域

※記載されている会社名・製品名は、各社の商標、または登録商標です。